

FAX 通信

2025 年 11 月 1 日発行 No. 04-035 From KOTANI

ホームページ <http://www.kotanikk.com>

新シール概論 (3) 8.2 ゴム (シール) 製品の保管条件

前節では、ゴム製品には保管 (貯蔵) 中に老化現象があることを説明しました。

では、この適切な保管 (貯蔵) 条件について、詳しく説明します。

- 1) 温度 貯蔵温度は、一般的に天候の変化により高温になる以外、38℃以下にして下さい。製品がボイラー、ラジエーターや直射日光のような直接の熱源から必ず離して下さい。

いずれにしても温度が製品を劣化させる主原因となります。ただし、低温の方がよいとして例えば 15℃以下で貯蔵した場合には、製品が柔軟性を欠いている場合もありますので、使用前には 20℃以上の場所に一次保管してから使用するようして下さい。

- 2) 湿度 相対湿度は、貯蔵中の温度変化に影響します。ゴムシール製品は耐湿度性に乏しい袋に入れしないで下さい。(通常、シールメーカは、この点には多分配慮されているはずですが)出来れば、湿度が 75%以下で貯蔵して下さい。

特にウレタンゴム製品は 65%以下にして下さい。

- 3) 光 光源 (直射日光や紫外線を含む人工灯) から保護する必要があります。個々の包装袋はUV対抗性のあるものの使用が望ましい。

貯蔵室の窓には赤やオレンジ色の遮蔽するカバーを付けるようにして下さい。

- 4) 放射線 製品に障害を与えるようなイオン化された放射線源から保護して下さい。(置かないこと)

- 5) オゾン 大半のゴムはオゾンにより影響を受けます。貯蔵室には、オゾンが発生させるような装置は入れないで下さい。これらの装置には水銀蒸発灯やスパークや放電を起すような

高電圧装置があります。

- 6) 変形 製品を入れた袋を積重ねすると、変形の原因となる伸ばしや圧縮応力が製品に発生します。特に重い製品の場合には注意ください。

大口径の内径の製品は折り目や振じれを避けるために、最低 3 条以上のループにして下さい。2 条は必ず避けて下さい。

- 7) 流体との接触 貯蔵中に製品が流体やその蒸気と接しないようにして下さい。(例、ガソリン、グリース、酸、消毒液、洗浄液など)

- 8) 金属との接触 ある種の金属やそれらの合金(例、銅、マグネシウム、鉄)は、製品に悪影響を与える可能性があります。そのような金属と接しないようにしてください。

(ただし、金属との接着品は別です) また金属とペアで貯蔵する場合は、分離して保管して下さい。

(続く)

取扱い製品について

NK リング：ふっ素ゴムをふっ素樹脂で被覆した画期的な O リング

コードリング：英国 NES 社の誇るふっ素ゴムつなぎ O リング

TESNIT：スロベニア DONIT TSNIT 社製の高品質ジョイントシート

その他の各種シール製品

以上の詳細はホームページに記載していますので、是非ご覧ください。カタログや技術資料は、ご要求がございました下記の本社宛にご一報ください。

コタニ株式会社

本社：神戸市中央区浜辺通 2-1-30

TEL:078-251-5300 FAX:078-251-5307

FAX 通信の記事についてのご意見や質問がございましたら下記の担当者に連絡ください。(担当：根本)